

農山漁村生活環境維持・産業振興特別委員会会議記録

農山漁村生活環境維持・産業振興特別委員長 元吉 俊博

1 日 時

平成30年11月26日（月） 午前 10時46分から
午前 11時05分まで

2 場 所

第1委員会室

3 出席した委員の氏名

元吉俊博、二ノ宮健治、井上明夫、木付親次、鴛海豊、油布勝秀、近藤和義、
後藤慎太郎、藤田正道、尾島保彦、吉岡美智子

4 欠席した委員の氏名

なし

5 出席した委員外議員の氏名

なし

6 出席した執行部関係者の職・氏名

なし

7 出席した参考人の職・氏名

なし

8 会議に付した事件の件名

別紙次第のとおり

9 会議の概要及び結果

報告書の素案について協議した。

10 その他必要な事項

なし

11 担当書記

政策調査課政策法務班	主任	中川悠
政策調査課調査広報班	主幹（総括）	飛河敦子
議事課議事調整班	主幹	秋本昇二郎

農山漁村生活環境維持・産業振興特別委員会次第

日時：平成30年11月26日（月）本会議終了後
場所：第1委員会室

1 開 会

2 報告書（素案）について

3 そ の 他

4 閉 会

会議の概要及び結果

元吉委員長 ただいまから、委員会を開きます。

本日は、閉会日に本会議場で報告いたします本委員会の報告書の素案について協議します。委員の皆さまには、事前にお送りし、意見をお伺いしておりますが、改めて事務局より説明させます。

〔事務局説明〕

元吉委員長 ただいまの説明について、何か御意見等がございますか。

近藤委員 これまでの調査を踏まえて、良くまとめられていると思います。私はこれで良いと思います。

尾島委員 10ページが一番上から2行目に、「農業はサラリーマンよりも魅力があるということをお伝え」とあるが、場合によってはそうなのかもしれないけれども、言い切っているのが、特別委員会の報告としては少し考えたほうが良いのではないかと思う。また、久住高原農業高校の全国募集のPRについて、県下については、中学校等に対して積極的な働きかけという具体的な取組が書かれているが、全国募集については、何か具体的なアイデアがないと提言としては弱いのかなという気がする。

藤田委員 今の久住高原農業高校のPRのことですが、県内について言えば、海洋科学高校と2校で回って農業も漁業も一緒にPRできるような仕組みがあれば効率的だと思います。行く行くは、海洋科学高校も全国公募して、一緒に全国にPRできれば良いと思います。

近藤委員 農業高校を全部廃止して、今頃本校化をやると言うのだから。推して知るべしだけれどもいろいろ言ってもしょうがない。

元吉委員長 さきほどの、農業はサラリーマンよりも魅力があるという表現は少し変えて。

尾島委員 言い切ってしまうので。

近藤委員 サラリーマンのことは触れなくてよい。農業は魅力のある産業ということ。

元吉委員長 それと、漁業の件は、久住高原農業高校のことは特化して提言したいので、4の新規就漁者確保のための情報発信についての中に入れるということ。

それでは、今出された委員からの御意見等も踏まえて、作業を進めたいと思います。よろしいでしょうか。

〔「はい」と言う者あり〕

元吉委員長 他に御意見、お気付きの点があれば、事務局に御連絡ください。11月30日までに意見調整を終え、本案を作成したいと思います。

また、細部につきましては、委員長に御一任願います。

次に、次回の委員会ですが、一般質問2日目、12月4日火曜日の本会議終了後にもう一度お集まりいただき、最終決定を行いたいと考えていますがよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

元吉委員長 では、そのように決定させていただきます。詳細は、後日事務局より連絡させます。

そのほかに、何かございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

元吉委員長 それでは委員会を閉じたいと思います。